



学校だより 逢う地

お・・・思いやりのある学校
う・・・美しさに満ちた学校
ち・・・力を伸ばす学校

希望と目標を持ち、自立の基礎を身につけた生徒の育成

R元. 5. 17. 第5号 相知中学校 校長室

生徒総会

5月14日(火)生徒総会がありました。各学年お互いに向かい合ってコの字型に位置し、本部及び専門部からは原稿をほとんど見ずに提案。時間が足りないくらいの熱心な質疑応答、討論がなされました。本年度の年間活動案を採択後、各学級から学級目標とシンボルマークが紹介されました。学級・学校の絆を固めようとするすばらしい目標、シンボルマークでした。本校の生徒会活動の活発さを象徴する質の高い総会となりました。



プール掃除の必須アイテム マイエンザにまつわるお話

近年プール掃除の前に「マイエンザ」なる物質を投入しています。このことによって壁面のコケをほとんどこすることなく掃除ができます。作業時間が飛躍的に短縮されました。

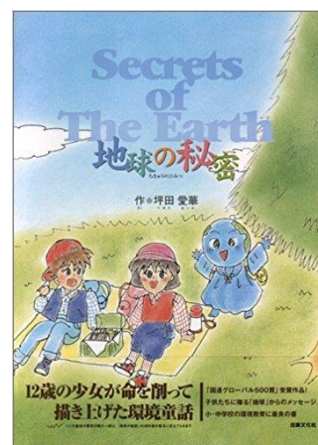
しかもこの「マイエンザ」は環境にとっても優しいのです。ヨーグルト(乳酸菌)、ドライイースト(酵母菌)、納豆(納豆菌)を適量、養分である三温糖とお湯を加え、適度な温度で十分に発酵させたものが「マイエンザ」です。食品由来の物質ですので、口に入れても大丈夫です。プールの中の様々な菌(バクテリア)の働きを活性化させ、コケや汚れを分解する作用があります。



この「マイエンザ」はもともと「えひめAI-2」と呼ばれていました。愛媛県産業技術研究所で、海水の浄化や、工業廃水や生活排水のクリーン化を目的として研究、開発されました。その後外国からの注文が多くなり、「えひめAI-2」(えひめあい)の発音が難しいところから、酵素を意味する「エンザイム」に響きの近いこの呼び方が採用されたそうです。

ところで、AI(あい)は何を意味するのか。私は当初(えーあい)と発音していましたが、実は人の名前に由来がありました。開発者の曾我部義明氏が、12才の若さで亡くなられた坪田愛華さんの環境童話作品「地球の秘密」を読み、地球・環境への思いに共感し、愛華さんの「愛」から名付けられたとの事です。愛華さんは、この絵本(漫画)を書き上げたその日の夜に体調が急変し、そのまま帰らぬ人になりました。愛華さんの「地球の環境を守りたい。」という純粋な気持ちに心を打たれた曾我部さんは、あえて特許を取得せず、みんなが自由に利用できるようにしたのだそうです。

「マイエンザ」をローマ字表記にすると、M・AI・ENZA。愛華さんの名前がしっかりと残っていますね。プール掃除の話が、グローバルな環境問題から1人の少女の生き様、それを受け継ぐ母親や研究者の思いへと幅広くつながりました。調べること、学ぶこと、知ることって改めておもしろいなあと感じました。私も愛華さんの意志を継ぎ、毎年「マイエンザ」を手作りさせていただいています。



校長室前に置いています

来週は体験活動週間

5月22日(水)～24日(金)3年生は修学旅行、2年生は職場体験学習、1年生は環境学習(校外学習を含む)を実施します。各学年総合的な学習の時間を使って、準備を進めてきました。机上ではできない貴重な体験をしてもらいたいものです。弁当の準備等お手数をおかけする場合がありますが、ご理解ご協力をお願いいたします。